

令和元年度しながわ CSR 推進協議会 課題別分科会（地域）発言等要旨

- 開催日時
令和元年12月10日（火） 午前10時～11時35分
- 開催場所
品川区役所 第二庁舎5階 252・253会議室
- 出席者
21企業23名、区側15名（地域活動課：11名、総務課：4名）

1. 開会

2. 品川区総務部総務課長 挨拶

3. 出席者紹介

4. 議題

(1) 町会・自治会の抱える課題について【10分】

- ・説明 地域活動課長・荏原第四地域センター所長
「品川区における町会・自治会について」「品川区における町会・自治会支援等について」「町会からの要望について」に関する説明

(2) 企業が実施した地域活動の事例紹介（SMK株式会社）【5分】

- 「自社の地域に対する活動事例」に関する紹介

(3) 意見交換会（抜粋）【60～65分】 ※4グループ×2回

- ・【会員】町会との関係は、お祭りでのおみこしの担ぎ手や置き場の提供、休憩場所の提供などを行っている。あとは防災に関する協定を結んで、災害があったときは町会の方を100名受け入れたり、備蓄品の置き場を提供したりしている。
- ・【会員】企業として町会に入るようになって、その町会長の紹介で小学校・中学校で工作教室ができるようになった。ただ、テナントであるため、備蓄品を置くことなどの協力ができないので、ほかにどのようなことに関われるのか悩んでいる。
- ・【会員】担当として地域との関わりはあるが、それを社内で広げるとなると、労務問題があり難しい。結果、担当だけでしか協力できないというジレンマがある。
- ・【会員】グループ企業としては防災に関して宮城県でのボランティアをやるなどしている。品川区では、子ども食堂の支援やプログラミング教室の実施などを実施している。プログラミング教室の実施の際は、地区としてどこに働きかけるか、どこにコンタクトをとっていいのかがわからないという課題があった。そういったところで、地域との協力をするにあたって、どこに連絡をしたら良いのかがわからない。その情報があるともう少し動きやすいと感じている。
⇒【地域活動課】町会や自治会の範囲などは、把握するのは難しい。町会は、ご想像しているとおりの〇〇何丁目町会という形であるが、自治会というのは建

物単位で町会を作る形となる。ほとんど都営住宅が建物ごとに自治会を形成している。なので、町会と自治会は並列してある形になっている。そのほか、神社の中に町会の分けがある。品川神社の区域の町会、荏原神社の区域の町会など神社ごとに1つのコミュニティがある。そういうのはわかりづらいところなので、地位センターに聞いていただくと説明できる。また、学校にはコーディネーターがいるが、町会や自治会とも連携しているので、マッチングもしてもらえる。

- ・【会員】町会には誰でも参加できるということが共有されていないと思う。家を持っている、会社でも事務所を借りている会社が多いので、借りている人でも、賃貸の人でも参加できるというところをもうちょっと共有していただけないかなと思ったり、あとは平日はやっぱり会社はいるので、平日の時間に何か参加して、企業にもメリットまでなくてもいいが、デメリットがないぐらいのことを企画できればやりやすいと思う。
 - ⇒【地域活動課】長年住んでいる方が町会の役員を占める中で、マンションとかを買って突然ぽんと来て、そこに入っていきというのは難しいかもしれない。ただ、大崎なんかは比較的新しい住民の方が多いので、地域性はあると思うが、比較的オープンな感じではあるかなとは思っている。平日は、なかなか町会に入っている方もお仕事されているので、どうしても活動はお休みの日とか夜間になってしまう。そこら辺は、ただ、無理のない範囲でできることをできる人がやるというスタンスでいいと思う。お互い顔の見える関係というところから始めていただくのが最初かなとは思っている。
- ・【会員】企業としては、職場体験や出張授業などの教育部門は比較的やりやすいが、そこから地域、町会へのつながりがよく見えにくい。地域との交流や相談ごとを聞ける場所があれば。
 - ⇒【地域活動課】地域センターの所長は学校でいう地域コーディネーターと同じ役割になれる。いきなり町会・自治会はすごく入りづらいので、地域センターに相談いただければと思う。
- ・【会員】町会の課題は、会議場がないというのはわかるが、お酒を飲まれては困る。
- ・【会員】NPOの方と子供たちの学習支援や放課後居場所の提供に興味関心を持って活動しようと思ったが、そもそもNPOではなく、区が同じようなものを求めていたら、そちらに興味があるし参加したいと思う。その情報がなかなか得られない。
 - ⇒【地域活動課】地域では、高齢者が多いので、インターネットでの情報発信はつくるのが苦手。普通であれば、ホームページを見ればわかるというところだが、町会は発信力が低いので、若い人も町会に入ってこれない。逆にそのあたりが得意で、やりますよという企業さんは喜ばれるかもしれない。
- ・【会員】町会ではないが、例えば自分の企業でこういうのをやりたいと思っているが、NPOを紹介してもらえないかとなった場合、紹介してもらえるのか。また、NPOを選ぶ基準が難しく、同じような活動をしているNPOでどちらが良いとか、大丈夫なのかとか、実績などをみて選ぶのが難しい。そのあたりも紹介してもらえないか。
 - ⇒【地域活動課】NPOが、こういう団体に対して支援したいと要望があり、合致すれば、何件か関わりのあるNPOをその中で複数をご紹介できる。NPOの優劣は区でつけられないが、区との関りを紹介することはできるので、そこから選んでいただく。
- ・【会員】何かやりたくてもどこと、誰と連絡をとっていいのかわからない。だから進めないという企業があると思う。学校では、コーディネーターの方に言うと全部繋げてくれるが、それを地域との関わりでできないか。

- ⇒【地域活動課】13地区にわかれた地域センターが最初の窓口になるので、そこに相談していただき、地域センターから町会・自治会に話を下ろしていくことはできる。ターゲットを絞ったものであれば、町会と企業の担当者をつなげることもできる。
- ・【会員】資料になっている地域だよりは結果が載っているだけなので、これから何かやるという情報はない。なので、毎月その各町会の会長を集めてやる会合があると思うが、その年間の計画などを開示していただけないか。月間計画を決めたときにそれをホームページに掲載することはないのか。
 - ⇒【地域活動課】地域センターごとの所長と相談していただければ、おそらく開示できる。ただし、ホームページへの掲載となると、どうしても計画から日程がずれることがあるので、難しい。
 - ⇒【会員】年間の計画を知りたいとこちらから言ったら、つながりを求められてくるかもしれないので、会社からは自分からアピールはすると言われる。企業ができることを協力したいが、何でもやってくれると思われるケースがある。ただ、フリースポットにこの地域イベントを手伝いたいといった場合では、「いいよやっごらん」となる。なので、全体的に関わりますと思われることを恐れるので、事前にチェックできれば良いと思った。
- ・【会員】企業で実施した活動などが、町会の方たちに情報が回って共有されているのか。活動の報告を社内報に載せると、社員がCSR活動への気持ちが高まる部分がある。それを町会とかで情報共有されていれば、やりやすい。
 - ⇒【地域活動課】子ども食堂など、区の事業にかかわるようなかたちであれば、当然町会にも周知はしている。町会の掲示板や月2回の回覧板など。そのなかで、区と一緒にやっているイベントがあれば、町会にも資料を配布している。ただ、企業さんのアピールというよりはイベントの周知にとどまっている部分はある。CSR協議会に加入している企業は、基本的に社会貢献に対する意識が高い企業でいるわけなので、そこと地域にアナウンスしていくことは必要だと感じる。

(3) 意見交換会のまとめ【10分】

各グループの企業[幹事企業]より報告

< Aグループ >

思った以上の企業が町会や自治会に参加していることを知った。弊社は、これまで自治会であったり町会ということを特に意識することなく、地域に対する取り組みを行っていた。

今回の皆さんのお話を伺って、もうちょっと自分たちの会社がある場所の町内や自治会のことを知って、協力していければと思った。

< Bグループ >

大前提としては、やはりESG、それからSDGsの関係からの地域との関係強化というのは、必要性が非常に高いというふうに認識されている企業が非常に多いということ。及び、やはり地域に溶け込んでもっと活動したいというふうにおっしゃっている企業さんも非常に多い。

一方で、課題としては、やはりスタート、地域との関係構築の糸口、最初のスタートというのはよくわからないということが多くの意見で出されていた。また、子ども食堂とか教育関係での活動をやっているけれど、その次のステップとして、町会さんとの関係を結びつけるというのが、このところでなかなか難しく

なる。なかなかいい知恵がないといったようなご意見も出た。また、背景としては、ビルなどは、ちょっと町会の方が気軽に入ってこれないという受け入れ側での課題であったり、貸しビルの関係であったら、備蓄品とか町会でそういった形での活動・ご協力というのは難しいといったようなご意見も出た。

また、社内的にも、どうしても土日の活動とかが多くなるので、リアルなところでは社内の協力が得にくいといったような関係とか、企業的にいろいろ制約があるようなところも実はあったり、そういったようなご意見もあった。

そんな中、区のほうから、最初の取っかかりとしては地域センターに相談するということが一つの糸口となりますということ、それから、学校関係でもし関係を既に構築しているようだったら、学校の地域コーディネーターにも相談したら、一つの糸口をつくってくれるのではないかなというようなサジェスションがあった。

<Cグループ>

企業として何か地域にいろいろと協力をしていきたい。では何かやりたいのだけれども、そもそもどこに連絡すればいいのかという、ここが大きな壁があるのではないかなということを感じた。それは学校なのか、あるいは学校経由での地域コーディネーターとか、それか地域センターなのか等々。

もう1つは、地域は一体何を求めているんだということ。漠然としたものではなくて、より具体的なメニューというか、何かそういったものを提示していただくことが可能なのか、できるのかとの話も出た。例えば地域センターが間に入っていればいいが、会社としては、町会・自治会のほうにより何か具体的なことをもってくれば、それを橋渡しというか、ある程度は直接的には何かできるのかなというようなお話もあった。

それで、企業として、地域がどういう活動をやっているのか、年間でやっているのかということを知りたいとき、地域が発行している地域だよりなどがなかなか社内に届かない。ホームページへの掲載という話もあったが、確かにこの地域だよりも大体が既に、このことをやりましたという報告のところが多くて、年間計画ではないが、そういったものが、なかなか掲載するのが難しいという話だった。そこは地域センターを通して、ある程度のところは情報提供が欲しいと意見があった。そういった意味で、お互いに何をやりたいか。向こうは何を求めているかということのトランスレーションをこの地域センターのほうで一つ担っていただく、そういった機能はあるのではないかなというような感想です。

<Dグループ>

もう皆様から出た意見がほとんどではあるが、ちょっとご紹介させていただく。

最初のグループでは、引っ越してこられた企業とか、あと逆に100年以上続く企業というところで、やはり、昔からその地域に密着されている企業と、あと、移転をしてきてどこから入ったらいいのかわからないという企業とがあつて、その差があるという感じを受けた。移転をしてきたところに関して、やっぱりテナントというのもあり、地域とのかかわりというのがどういうふうにやったらいいのかわからないというところがあった。あとは、お祭りと防災というのが企業として地域とのかかわりやすいという話もあったが、それ以外には何があるのかという話も出ていた。あと、テナントということで、ビルの中にもなかなか入れないという、セキュリティが厳しいという企業もあるので、企業として何ができるのかというお話もございました。

2回目に関しては、やっぱりやりたいことがあったときにどこに相談していいのかわからないというところで、区の方から地域活動課に相談をしてくださいということでお話がありました。自治会とかがどんなことをやってほしいかということと、企業がやりたいということのつなぎ役というところで、区が、地域センターとふだんも情報共有をしておりますので、その橋渡しをしていただけるといってお話をいただいた。

あと、そもそもこの会に入っている企業というのは、社会貢献に意識が高い企業が多いということで、それを地域が知らないのではないかという話が出た。地域のニュースに載せたりすることで、企業を知ってもらいたいというところで、企業としては名前が出ることでメリットがあると。それで、関係性を持つので、顔と顔が見える関係性は大切だよということ、お互いに知ることが大切という話があった。

5. その他

しながわCSR推進協議会からのお知らせ

6. 閉会